

ホームページを活用して地域社会とコミュニケーション

事業内容

舗装、土木一式、とび・土工、石、鋼構造物
塗装、造園、水道施設工事等

■ I T導入の目的、ねらい

インターネットを利用した情報技術（I T）の進歩には目覚ましいものがあり、I T革命と言われている。

W e bを活用して会社の知名度アップ、地域住民へのサービス向上、事務の効率化を図るためL A Nを導入した。

■ I T導入の経緯

平成11年10月にホームページを開設し、会社の概要等を掲載した。

また、公共工事の真の発注者は納税者である地域住民であり、地域住民へのサービスとして当社の道路工事に伴う交通規制情報をホームページに掲載した。

平成12年6月からは社員全員にパソコンを導入した。

■ I Tの導入状況と費用

当社では、ホームページの作成から、メンテナンス、更新に至るまで、全て外部の専門業者にアウトソーシングしている。

ただし、ホームページの掲載内容の検討、とりまとめはI T委員会（若手社員7人）が担当している。

社員が本来業務の他に、I T業務を兼務することは本来業務に支障を来すので、I Tに

係る業務は全て専門業者にアウトソーシングしている。この方が効率的であり、専門業者が作成したホームページなので見やすく、パソコンの社員教育も委託している。

また、社員一人に1パソコンとしているため、パソコンは計43台あり、社員全員がパソコンを使いこなしている。プリンタは10台設置している。

各現場に出ているパソコンには、現場の写真、書類をバックアップするためのモバイルディスクカードが備わっている。その他、営業担当者と現場管理者には携帯電話18台を渡して業務の効率化を図っている。

ハード面の導入費用はトータルで1,000万円である。メンテナンスコストとしては、ホームページのメンテナンスが月51,000円である。メールの電話料金はフレッツA D S Lを採用しているため、月2,000～3,000円である。



セントラル建設（株）のホームページ

■ I T 導入時の問題とその対応策

パソコンを購入する時は故障した時のアフターケアを考慮して、近くのコンピュータソフトウェア会社で購入した。

確かに量販店で購入すれば安く購入でき、経費の節約になる。

しかし、アフターケアがない。車を購入する時のように修理のフォローアップ体制が確立している方が安心である。特に、この店の場合は車で2分と近くであり、土曜日でも対応してもらえるので安心である。

■ I T 活用の具体的効果

I T 活用の具体的効果としては、ホームページに当社の「環境方針」、「太陽光発電への取り組み」、「建設技術フェアへの出展」等及び社長の「岐阜新聞掲載論説(素描)」・エッセー集を掲載し、内容を充実させたことによりアクセス件数が増え、知名度アップに繋がった。ホームページ開設当初は1日のアクセス件数が1~2件であったが、現在は10件程になっている。

また、ホームページを見た人から「田圃を駐車場にするにはいくら掛かるか見積もってください」という依頼や、ホームページを見て尋ねてくる企業もある。

このため、会社のパンフレットを印刷する必要がなくなった。

なお、以前はコンピューター室が必要であったが、一人1パソコンになってからは必要なくなり、会議室として利用している。

社員間の情報交換はメールで、紙の文書はほとんどなくなり、取引先へは見積書もメールで送付している。

大雨の際は、工事現場の状況をデジタルカ

メラで撮影して送信してくるので、本社にしながら現場の状況を素早く把握できる。

■ 今後の I T 関連計画

これからは新規事業を始める時は、ホームページでPRをしていきたいと考えている。

また、ホームページを定期的に更新して各種の情報を発信していきたいと考えている。

■ 今後 I T を導入する企業へのアドバイス

- ✓ パソコンは量販店で購入しないで、フォローアップ体制の確立した近くのコンピュータソフトウェア会社で購入した方がよい。
- ✓ I T 業務は社員が兼務するよりも、専門業者にアウトソーシングした方が効率的である。

会社名	セントラル建設株式会社
業種	総合工事業
設立年月	昭和36年4月
資本金	4,000万円
従業員数	73人
所在地	恵那市大井町1202-4
URL	http://www.central1961.com